

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

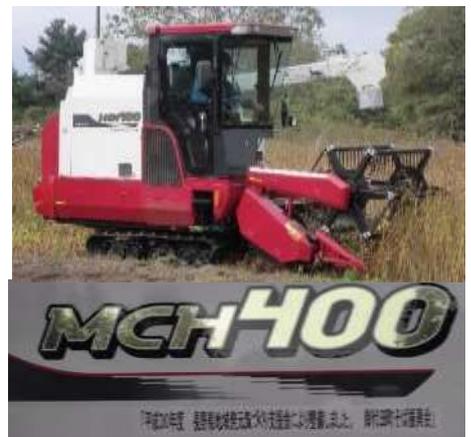
事業名	そば及び大豆の農業生産振興による耕作放棄地予防対策推進事業
事業主体 (連絡先)	御代田町そば振興会 (〒389-0202 御代田町大字草越 1207 番地 24 事務局総務部 内堀 喜代志)
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	7,300,000 円 (うち支援金: 5,000,000 円)

事業内容

そば、大豆等刈り取り受託作業の強化(新型コンバイン整備事業)

高性能、高機能の新型コンバインを整備し、普通そば及び大豆の収穫に係る作業の高効率化を実現させることで、受託作業量を拡大させ作業に従事者を増やし、雇用の創出を図ります。

また、御代田町では、そばの作付を奨励しており、耕作放棄地を未然に予防するための受け皿として位置付け、生産者が作付しやすい環境を支援しています。耕作放棄地が、そば以外の高収益作物の作付により解消されれば地域住民の所得向上につながりますが、そば生産の手軽さや町行政からの補助を活かし、町内そば生産基盤の維持に、本事業を活用したいと考えています。



【汎用コンバイン】

【目標・ねらい】

事業効果

課題解決、地域内経済の循環や雇用の創出、近隣市町からの受託による広域的取り組みなど

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【現状】

そば刈り取り用コンバイン 1台 従事者 2名1組

大豆刈り取り用コンバイン 併用 従事者 兼務

【効果】

そば刈り取り用コンバイン 1台 従事者 2名1組

大豆刈り取り用コンバイン 1台 従事者 2名1組

そば刈取りと大豆刈取りが複数班でできる事により2名の雇用創出が出来ました。

【現状】

そば調整受託数量 平成29年度 14.6t (町内生産者集荷分のみ)

【効果】

そば調整受託数量 平成30年度 22.6t (近隣市町新規受託分を含む) ※実績報告時点の見込み

【現状】

そば調整ライン作業従事者数 3名

【効果】

そば調整ライン作業従事者数 5名

そば調整受託料の増加により2名(3名→5名)の雇用創出が出来ました。

- ①刈取り体制の強化による作業効率の向上
- ②作業の効率化による受託作業の増加
- ③受託作業の増加に伴う雇用の創出
- ④そば生産ラインの体制強化による生産基盤の維持を図り、そば生産による耕作放棄地の未然予防に貢献

※自己評価【B】

【理由】

新型コンバインを導入して、作業効率が図れ近隣市町村からの新規受託作業が増え、雇用の創出が実現できた。そば作付けを推奨して耕作放棄地の未然防止に貢献できました。当初の目的は達成できました。

今後の取り組み

そば・大豆生産体制の強化と維持に努め、生産振興に貢献。そばや大豆を活用した地産地消の推進、都市住民との農村交流事業への協力に取り組んでいく。

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

新型コンバインの導入による作業効率の改善や機動性の向上による所要日数の減により、作業全体にゆとりが生じ、町外からの外部作業受託が可能となるなど、これまでの課題が解決され一定の効果が得られたと実感している。

そば及び大豆は、収穫適期における刈取り作業、乾燥、唐箕がけ、石抜き等の必要な作業を経て出荷、販売されます。また、自家消費分などにあっては、製粉も受託しており、当振興会が受託する各種作業やその役割は、生産者や消費者に対し重責を担うものであります。

次年度以降は、老朽化と処理能力低下のそば石抜き機・玄そば皮むき機・製粉機などを更新し、玄そば出荷等級の格上げ（品質向上）と玄そば加工品の「そばリゾット」などの6次産業化を目指し、雇用創出と地域経済の循環に貢献します。また、学校給食との連携を強化して食育を進め、クラインガルテン事業に参加して、都市住民との交流を積極的に進めます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある